

陸上競技実施要項

[大会コード 19502014]

- 1 主催 鹿児島工業高等専門学校
九州沖縄地区高等専門学校体育連盟
一般財団法人鹿児島陸上競技協会
- 2 後援 鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、霧島市、霧島市教育委員会
- 3 期日 令和元年7月13日(土)・14日(日)
- 4 会場 白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)及び鴨池補助競技場
(鹿児島市与次郎2の2の2) [競技場コード461010]
- 5 参加人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、各種目別競技者
- 6 種目 (男子) 20種目 (*印: 対校得点対象外種目)
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC
4×100mリレー、4×400mリレー、*200m(オープン)、*1500m(オープン)、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6.0kg)、円盤投(1.75kg)、やり投

(女子) 11種目
100m、200m、800m、3000m、100mH、4×100mリレー、走高跳、走幅跳、
砲丸投(4.0kg)、円盤投(1.0kg)、やり投(0.600kg)
- 7 競技規則 2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会競技注意事項による。
- 8 競技方法
 - (1) 男女別学校対校とする。
 - (2) 得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
 - (3) 最多得点校を優勝校とする。ただし、同点の場合の順位決定は上位入賞種目の多い学校を上位とする。
- 9 出場資格及び制限
 - (1) 競技者は、2019年度日本陸上競技連盟並びに日本高専陸上競技協会登録者であること。
 - (2) 1人2種目以内とする。ただし、リレーと対校得点対象外種目については出場種目から除く。
リレーの交代については、規則どおりすべての種目の出場者が対象となる。
 - (3) 1種目各校3名以内とする。ただし、対校得点対象外種目およびオープン種目については、出場人数の制限を設けない。専攻科生はオープン種目のみ出場を認める。
 - (4) 4×100mリレー及び4×400mリレーは、各校1チームとする。
 - (5) リレーの申込みは6名連記とする。
 - (6) 補欠競技者の登録は、男女合わせて3名以内とする。競技者の変更は補欠競技者として申し込んだ3名以内に限るものとし、その変更は監督会議において承認を得るものとする。

10 参加申込書等について

- (1) 陸上競技参加申込書と陸上競技種目別一覧及び個人申込書、リレーメンバー申込書の提出期限は令和元年6月21日(金)とする。
- (2) ナンバーカードについて
 - a) ナンバーカードは各校で準備すること。
 - b) ナンバーカードは次のとおりとする。

101～久留米	201～有明	301～北九州	401～佐世保
501～熊本高専(熊本)	601～熊本高専(八代)	701～大分	801～都城
901～鹿児島	1001～沖縄		
- (3) オープン種目の申し込み方法について、ナンバーは正式種目にエントリーしている者はそのナンバーを記載し、オープンのみの方は、当校の空いているナンバーを記載する。ただし、○97～○99は補欠用(男女共有)、○51～は女子用のナンバーとする。
- (4) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

競技注意事項

1 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。

2 競技者の招集について

(1) 招集所は、白波スタジアムバックスタンド下、200mスタート地点側に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻及び完了時刻は次のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始60分前	競技開始40分前

(3) 競技者は招集所において、ナンバーカード持参の上、競技者係のチェックを受けること。

(4) トラック競技は出発地点、フィールド競技は現地記録席付近にて最終点呼を取る。

(5) 代理人による招集は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。

(6) 棄権をする競技者は、本人または監督が欠場届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。

(7) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。

3 ナンバーカードについて

ナンバーカードは胸・背につけ、トラック競技出場者は招集所で配付されたレーンナンバーカードを腰部のやや後方の両サイドに取り着ける。ただし、リレーに出場する競技者は第4走者のみでよい。

4 リレー競技について

オーダー用紙は当該種目競技開始時刻60分前までに招集所競技者係に提出する。

5 走路順・競技順序について

トラック競技の予選における走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラムに記載の番号の左に1. 2. 3. . . .の数字で示す。

6 競技の抽選及び番組編成について

(1) トラック種目における決勝へのプラス進出者については、該当競技の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定主任が、同記録者の写真を拡大して、タイムだけでなく、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決まらない場合は着順を優先して抽選する。但し、1500mでの同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。

(2) 写真判定装置不動作の場合は、その種目の当該ラウンド全組を手動計時にかえ着順優先で判定する。

7 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方について

(1) 男子走高跳における練習の高さは1m50及び1m70、試技開始は1m55、それ以降1m60、1m65、1m70、1m75、1m80、1m85とし、以後は3cmずつとする。第1位が同記録の場合、順位決定のためバーの上げ下げは2cmとする。

- (2) 女子走高跳における練習の高さは1m15及び1m35、試技開始は1m20、それ以降1m25、1m30、1m35、1m40とし、以後は3cmずつとする。第1位が同記録の場合、順位決定のためバーの上げ下げは2cmとする。
- (3) 男子棒高跳における練習の高さは自己申告とし、試技開始は3m00、以後は10cmずつとする。第1位が同記録の場合、順位決定のためバーの上げ下げは、5cmとする。
- (4) 上記のバーの上げ方は、天候やその他の条件により変更することがある（審判長が決定する）。

8 用器具について

- (1) 棒高跳用ポール以外、使用する用器具類は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 円盤、やりについては、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める。ただし共通利用とする。

9 表彰について

表彰は、当該種目終了後直ちに行う。3位までに入賞した者は、本部の表彰者控室で待機し、係員の誘導に従うこと。

10 全国大会への出場権について

- (1) この大会における男子は3位、女子は2位までの入賞者は、全国高等専門学校体育大会への出場権を得ることになる（ただし下記(2)の種目は除く）。

男子は1人2種目以内（リレー種目は除く）。

男子リレー種目は2位までの入賞チーム、有効期間内における公認記録の全国上位8チームとする。

女子は下記(2)の種目を含め2種目以内（リレー種目は除く。）とする。

- (2) 下記の種目は、標準記録を設け以下のような選出方法を行う。

男子 400mH：59秒00、3000mSC：10分30秒00、棒高跳：3m50（この3種目も対校得点とする）

女子 200m：28秒60、3000m：12分00秒00、100mH：17秒90、4×100mR：56秒00、

走高跳：1m40、円盤投：23m00、やり投：25m00（この7種目も対校得点とする）

男子 400mHと棒高跳は有効期間内の公認記録上位24名以内、3000mSCは同20名以内とする。

女子 200m、3000m、100mH、走高跳、円盤投及びやり投は有効期間内の公認記録上位16名以内とする。

- (3) 公認記録の有効期間について、リレー種目は平成31年4月1日から令和元年7月14日までとし、これ以外の種目については平成30年8月20日から令和元年7月14日までとする。

- (4) トラック種目における全国大会出場枠の最下位に同着が複数出た場合、再レースを実施する。

11 その他

- (1) 投てきの練習は、すべて競技場内で行うこと。競技場内では係員の指示に従い行うこと。特に危険防止につとめること。
- (2) 全天候舗装路のためスパイクのピンは、9mm以下のものを使用すること。また、走高跳及び槍投の場合は、12mm以下のものを使用すること。
- (3) 男子5000mと3000m障害及び女子3000mは、天候によって給水を行うことがある。
- (4) 男子4×100mリレー及び男子4×400mリレーが決勝1本となった場合は、1日目のトラック競技開始時間を20分早めることとする。